

Ⅱ 申込内容③ 世帯の状況（続き）

●「家族情報」画面

G-あなたの家族情報

あなた自身の状況について記入してください。

1. 社会的養護について

(1) あなたは社会的養護を必要とする人ですか。

☐ はい ☐ いいえ

(2) (1)で「はい」と答えた人は、あてはまるものを選択してください。

- | | |
|---------------------------------------|---|
| ☐ 児童養護施設入所者等 | ☐ 児童自立支援施設入所者等 |
| ☐ 児童心理治療施設入所者等 | ☐ 自立援助ホーム入所者等 |
| ☐ 里親に養育されている(いた)人 | ☐ ファミリーホームで養育されている(いた)人 |

(3) (1)で「はい」と答えた人は、入所年月を記入してください。

半角数字
(西暦) 年 月

「入所年月」の注意点

- ① **18歳になっていない人は、申込時点で入所している施設（養育されている里親）について、18歳になっている人は、18歳となった時点で入所していた施設（養育されていた里親）について、記入してください。**
- ② 入所年月が分からない場合、施設（里親）の方に確認するか、又は、**確実に入所中だった年月**を記入してください。

生計維持者（詳しくは、貸与奨学金案内9ページ・給付奨学金案内8ページ）

- ・父・母2名（ひとり親の場合は父（母）1名） ※収入の有無は無関係です
- ・父母2人ともいない場合はあなたの生計を維持している主たる人1名

就学者・就学前の家族（貸与奨学金希望者のみ・18ページで記入）

- ・「就学者」又は「就学前」のどちらかに○が入った人

その他の家族（貸与奨学金希望者のみ・18ページで記入）

- ・「生計維持者」でもなく、「就学者・就学前の家族」でもない人

あなたの家族について記入してください。

2. 同一生計の世帯人員(あなたを含む)の人数を記入してください。

半角数字
 人

II 申込内容③ 生計維持者の情報

● 生計維持者の人数

生計維持者人数

(12 ページの表で確認した人数を選択→)

・ 1 人

・ 2 人

← 仙商家の場合2人



生計維持者が父・母の2名とならない場合は、その理由の申告が必要です(16 ページ)。

● 生計維持者の基本情報

12 ページで確認した「生計維持者」について記入してください。

父or母が無職無収入でも
生計維持者に記入します！



	生計維持者①		生計維持者②	
続柄	☒ 父 ・ 祖父 ・ 祖母 ・ 本人 ・ その他		☒ 母 ・ 祖父 ・ 祖母 ・ その他	
漢字氏名	姓 仙商	名 剛士	姓 仙商	名 しずか
カナ氏名	姓 センショウ	名 タケシ	姓 センショウ	名 シズカ
生年月日	(和暦) 昭和〇〇 年 〇 月 〇〇 日		(和暦) 昭和△△ 年 △ 月 △ 日	



① 続柄は、父・母の組合せか、父以外・母以外の組合せしか選択できません。(義父(母)は父(母)を選択してください。)

② 漢字氏名は姓・名それぞれ5文字まで、カナ氏名は姓・名それぞれ15文字までです。

● 生計維持者のその他の情報

・ マイナンバーカードでなく、通知カードのコピーでも可。
・ 該当する部分全てに○印をつける。

	生計維持者①	生計維持者②
マイナンバーの提出	・ 準備できている ・ これから準備する ・ その他(提出できない)	・ 準備できている ・ これから準備する ・ その他(提出できない)
提出できない事情	「その他」を選択した人は提出できない事情を選択 ・ 海外居住等によりマイナンバーの交付を受けていないため ・ 病気等により署名できない ・ その他	「その他」を選択した人は提出できない事情を選択 ・ 海外居住等によりマイナンバーの交付を受けていないため ・ 病気等により署名できない ・ その他
2020年1月1日時点の生活保護の受給	・ はい(受給していた) ・ いいえ(受給していなかった)	・ はい(受給していた) ・ いいえ(受給していなかった)
2020年1月1日時点の住民票	・ はい(日本国内にあった) ・ いいえ(日本国内になかった(海外転出))	・ はい(日本国内にあった) ・ いいえ(日本国内になかった(海外転出))



① 申込みには、**申込者(あなた)・生計維持者のマイナンバー**の提出が必要です(26・27 ページ【Q】・【R】・【S】)。マイナンバーの交付を受けていない等により提出できない場合も、「マイナンバー提出書」やマイナンバーに代わる書類の提出が必要です。(26・27 ページ【Q】・【T】)



② 2020年1月1日時点で日本国内に住民票がなかった人は年収等に関する書類が必要です。(27 ページ【U】・【V】)

③ 生活保護については、世帯主でなくても生活保護世帯に属していた人は「はい」(受給していた)を選んでください。

II 申込内容③ 生計維持者の情報（続き）

●「家族情報」画面（続き）

3. 生計維持者（原則父母2人。父母ともいない場合は代わって生計を維持する人）について記入してください。
(1) あなたの生計維持者の人数を記入してください。

半角数字
 人

(2) 生計維持者①

(a) あなたから見た続柄

未選択

(b) 生計維持者①の氏名

姓

名

漢字（全角漢字）

カナ（全角カナ）

(c) 生計維持者①の生年月日

半角数字
(和暦) 未選択 年 月 日生

(d) 生計維持者①のマイナンバーを機関に提出する準備はできていますか。

①注1 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。

①注2 家計審査のため、マイナンバーの提出が原則必要です。

提出できない場合は、別途所得証明書等の証明書類の提出が必要となります。

- ☐ 準備できている
☐ これから準備する
☐ その他

(e) 生計維持者①は2020年1月1日の時点で生活保護を受けていましたか。

☐ はい ☐ いいえ

(f) 生計維持者①は2020年1月1日の時点で日本国内に住んでいましたか。

☐ はい ☐ いいえ



スカラネットの画面では、生計維持者②の情報の入力欄は、生計維持者①の収入・資産（16・17 ページ）までを入力したあとから始まります。（内容は生計維持者①の入力欄と同じです）

Ⅱ 申込内容④ 生計維持者の収入・資産

▲ 生計維持者の収入（貸与奨学金を希望する人のみ記入） 父or母それぞれに関してチェック！

生計維持者の**申込時点**の収入の種類をチェックしてください。（あてはまるものすべてにチェック）

申込時点の収入の種類		証明書類	生計維持者①	生計維持者②
収入あり	1. 給与			
	2019年1月1日以前から勤務	不要（マイナンバーで確認）	☐	☐
	2019年1月2日以降に就職・転職	必要（24ページ【F】）	☐	☐
	2. 商店・農業工業・個人経営による所得			
	2019年1月1日以前から営業	不要（マイナンバーで確認）	☐	☐
	2019年1月2日以降に開業	必要（24ページ【G】）	☐	☐
	3. 失業手当	不要（マイナンバーで確認）	☐	☐
	4. 生活保護	不要（マイナンバーで確認）	☐	☐
	5. 年金（遺族年金・障害年金含む）	必要（24ページ【H】）	☐	☐
	6. 傷病手当金	必要（24ページ【I】）	☐	☐
無収入	7. 児童手当	不要（マイナンバーで確認）	☐	☐
	8. 児童扶養手当	不要（マイナンバーで確認）	☐	☐
	9. 特別児童扶養手当	不要（マイナンバーで確認）	☐	☐
	10. 労災・親族等からの援助や養育費	必要（24ページ【J】・【K】）	☐	☐
	11. 無収入（1～10の収入なし）			
	2019年1月1日以前から無収入	不要（マイナンバーで確認）	☐	☐
	2019年1月2日以降に退職・廃業し無収入	必要（24ページ【L】）	☐	☐

証明書類の欄に「必要」と書かれている場合、提出！



チェックをつけた収入の種類により、証明書類が必要になる場合があります。（証明書類欄で確認してください）

★ 資産（給付奨学金を希望する人のみ記入） 貸与奨学金のみ希望する人は記入しなくて良いです。

あなた（申込者）と生計維持者の資産を記入してください。（1万円未満は切り捨て）

あなた	生計維持者①	生計維持者②	合計
万円	万円	万円	万円



- ① 申告の対象となる資産の範囲は次のとおりです。（土地・建物等の不動産は含みません。）
- ・現金及びこれに準ずるもの（投資信託、投資用資産として保有する金・銀等）
 - ・預貯金（普通預金、定期預金等）
 - ・有価証券（株式、国債、社債、地方債等）
- ② 資産が基準額を超える場合は採用されません。（給付奨学金案内7ページ）

資産があると給付奨学金は受けられないかも。

● 生計維持者が1名となる理由（生計維持者が父・母2名でない人のみ選択）

生計維持者について、父・母2名とならない理由を選択してください。

↓ 該当者は記入

理由	
・死別	・離婚等（離婚調停中、DVによる別居中、未婚等を含む）により別生計
・生死不明、意識不明、精神疾患等のため意思疎通不可	・申込者が配偶者に扶養されている
・その他（ ）	



選択内容について JASSO の審査の過程で疑義が生じた場合、理由を証明する書類の提出を求める場合があります。

II 申込内容④ 生計維持者の収入・資産（続き）

●「家族情報」画面（続き）

2019年1月2日以降に
就職・転職の場合、
1. と (h) の両方にチェック

2019年1月2日
以降に開業の場合、
2. と (h) の両方に
チェック

2019年1月2日
以降に退職・廃業
し無収入の場合、
11. と (i) の両方に
チェック

資産の合計額が2,000万円未満
(生計維持者が1人の場合は
1,250万円未満)の場合は
「はい」を選択、
そうでない場合は「いいえ」
を選択してください。

＜以下、(g)～(i)は貸与奨学金の希望者のみ入力してください＞

(g) 生計維持者①の所得(申込時点の状況)について、該当するものをすべて選んでください。

- ☐ 1. 給与
- ☐ 2. 商店・農業工業、個人経営による所得
- ☐ 3. 失業手当
- ☐ 4. 生活保護
- ☐ 5. 年金(遺族年金・障害年金を含む)
- ☐ 6. 傷病手当金
- ☐ 7. 児童手当
- ☐ 8. 児童扶養手当
- ☐ 9. 特別児童扶養手当
- ☐ 10. 労災(労災保険給付)、祖父母等からの援助や養育費等
- ☐ 11. 無収入(1.～10.のどの収入もない)

(h) (g)で1,2を選んだ人のうち、2019年1月2日以降に就職・転職・開業している場合は、
以下にチェックのうえ、「直近3か月以上の給与明細書のコピー」等、現在の所得を証明できる書類を
提出してください。

☐ 2019年1月2日以降に就職・転職・開業している

(i) (g)で11を選んだ人のうち、2019年1月2日以降に退職・廃業した場合は、
以下にチェックのうえ、「離職票」、「退職証明書」等の書類を提出してください。

☐ 2019年1月2日以降に退職・廃業している

(3) あなたは生計維持者が1人と申告していますがよろしいですか。

※ 父母がいる場合は、収入の有無に関わらず必ず父母ともに生計維持者として入力が必要
です。(離婚等により完全に別生計となっている父又は母を除く)

☒ はい(生計維持者は1人) ☐ いいえ(生計維持者は2人)

＜給付奨学金の希望者のみ入力してください＞

4. あなたと生計維持者(原則父母)の資産に関して記入してください。

(1) あなたと生計維持者(原則父母)の資産の合計額は2,000万円未満
(生計維持者が1人の場合は1,250万円未満)ですか。

※ 対象となる資産の範囲: 現金及びこれに準ずるもの、預貯金並びに有価証券の合計額(不動産
は対象としない)。

☐ はい ☐ いいえ

(2) あなたと生計維持者(原則父母)の資産の額をそれぞれ記入してください。
(1万円未満切り捨て)

	半角数字	万円
あなた		
生計維持者①		
生計維持者②		
合計	0	

5. 父又は母のいずれかのみを「生計維持者」としている理由について、次のうち該当するものを選択してくだ
さい。

- ☐ 父又は母と死別した。
- ☐ 父母の離婚等により、父母いずれかとわたし(本人)は別生計である。
※「離婚等」には、離婚調停中、DVによる別居中、又は未婚の場合なども含みます。
- ☐ 父又は母が、生死不明、意識不明、精神疾患等のため、意思疎通ができない。
- ☐ その他

II 申込内容⑤ 生計維持者以外の家族

ここから先は、貸与奨学金を申し込む人のみ確認が必要な内容になります。給付奨学金だけを申し込む人は、申込内容の確認は完了しています。必要書類の準備（第II章・22ページ～）に進んでください。

▲就学者・就学前の家族の人数（貸与奨学金を希望する人のみ記入）↓仙商家は妹の花子だけ。

12 ページで確認した「就学者・就学前の家族」の人数（あなた自身を含みます）

1

人

▲就学者・就学前の家族の情報（貸与奨学金を希望する人のみ記入）

「就学者・就学前の家族」のうち、**あなた以外の人**がいれば記入してください。

続柄	漢字氏名		学校設置者	在学している学校（種類）	通学別
	姓	名			
妹	仙商	花子	・国 立 ・私立・就学前	小学校	・ 自宅 ・自宅外
			・国公立・私立・就学前		・自宅・自宅外
			・国公立・私立・就学前		・自宅・自宅外
			・国公立・私立・就学前		・自宅・自宅外
			・国公立・私立・就学前		・自宅・自宅外
			・国公立・私立・就学前		・自宅・自宅外



記入しきれない場合（7人以上）は、学校に相談してください。

●「就学者・就学前の家族」の、「続柄」・「在学している学校」の選択肢

続柄	・兄弟 ・姉妹 ・その他
在学している学校	・小学校 ・中学校 ・高等学校 ・高専（1～3年次） ・高専（4・5年次・専攻科） ・専修学校（高等課程） ・専修学校（専門課程） ・短期大学 ・大学 ・大学院 ・幼稚園その他（小学校入学前） ←「就学前」の人の場合に選択

▲その他の家族の情報（貸与奨学金を希望する人のみ記入）

12 ページで確認した「その他の家族」がいれば記入してください。

続柄	漢字氏名		現在の年齢
	姓	名	
祖父	仙商	亀吉	60 歳
祖母	仙商	鶴	58 歳
兄	仙商	太郎	24 歳
			歳
			歳

●「その他の家族」の、「続柄」の選択肢

・兄弟
・姉妹
・その他
・祖父母
・おじおば
・その他

II 申込内容⑤ 生計維持者以外の家族（続き）

●「家族情報」画面（続き）

5. 就学者・就学前の家族に関して記入してください。

(1) 家族のうち、就学者（学校に在学している人）と就学前の家族（小学校入学前の弟妹）の人数を記入してください。（あなたを含む）

半角数字
□ 人

(2) あなたの他に学校に在学している人および小学校入学前の弟妹を全員記入してください。

6人目まで
入力できます。

1人目

続柄	未選択 ▼
姓	(全角漢字)
名	(全角漢字)
学校設置者	未選択 ▼
在学している学校	未選択 ▼
通学別	未選択 ▼

2人目

続柄	未選択 ▼
姓	(全角漢字)
名	(全角漢字)
学校設置者	未選択 ▼
在学している学校	未選択 ▼
通学別	未選択 ▼

6. その他の家族（「あなた・生計維持者・就学者・小学校入学前の弟妹」以外の家族）を記入してください。

続柄	姓 全角漢字	名 全角漢字	年齢 半角数字
未選択 ▼			
未選択 ▼			
未選択 ▼			
未選択 ▼			
未選択 ▼			

II 申込内容⑥ 家族の特記情報（特別控除）

貸与奨学金の家計基準の判定において、次の特別な事情にあてはまる家族（世帯）の場合、生計維持者の収入額から「特別控除」額として控除（引き算）した金額で、審査を受けることができます。



- ① 控除の申請に必要な証明書類は **25・26 ページ【M】～【P】**を確認してください。（母子・父子世帯の証明書類は不要です）
- ② 控除は**希望制**です。希望しない場合や証明書類を提出できない場合は「いいえ」を選択してください。

▲ 母子・父子世帯（ひとり親世帯）

母子・父子世帯（ひとり親世帯）である場合、一定額を控除します。

↓ 仙商家は「いいえ」

あなたの家庭は母子または父子家庭ですか。

・はい ・いいえ

▲ 障がいのある人がいる世帯

障がいのある人（申込者本人を含む）がいる世帯の場合、障がいのある人の人数に応じて一定額を控除します。
↓ 「はい」の場合、障害者手帳のコピーなども必要 ↓

あなたを含め、家族の中に障がいのある人（常に就床を要する介護の必要な人等を含む）がいますか。

・はい ・いいえ

「はい」と答えた人は、その人数を記入してください。

人

▲ 生計維持者が単身赴任している世帯

生計維持者が単身赴任により別居している場合、別居に係る支出額の年額を 71 万円を上限として控除します。
↓ 「はい」の場合、単身赴任実費計算書なども必要 ↓

生計維持者が単身赴任等で別居していますか。

・はい ・いいえ



- ① 申込時点で単身赴任が終了している場合や、家庭の事情により自発的に別居している場合は控除の対象外です。
- ② 対象となる費目は、家賃、高熱水道費、家具・家事用品の実費（職場等の補助を受けていないもの）に限ります。（引越代、食費、帰省交通費、ガソリン代、駐車場代、電話代、受信料、新聞代等は対象外です。）

▲ 長期療養者がいる世帯

6か月以上にわたり療養中または療養を必要とする人（申込者本人を含む）がいる場合、療養のために必要な支出額の年額を控除します。 ↓ 「はい」の場合、長期療養費計算書なども必要 ↓

あなたの家庭に、6か月以上にわたり療養中の人または療養を必要とする人がいますか。

・はい ・いいえ



- ① 申込時点で療養が終了している場合や、単発の通院や手術は控除の対象外です。
- ② 対象となる費目は次のもの（保険や損害賠償等により補てんされた金額を除く）に限ります。
 - ・医師（歯科医師）による診察・治療費 ・マッサージ・はり・きゅう柔道整復等の治療費
 - ・治療または療養のための医薬品費 ・看護人に支払う費用（まかない費を含む）
 - ・病院・診療所の入院費用・通院費用（必要不可欠なものに限る）
 - ・介護保険法により「要介護認定・要支援認定」を受けた人がサービスを利用した場合の自己負担額（光熱費、差額ベッド代、食費、老人ホームの入所費、食事療養費、保険適用外の文書料等は対象外です。）

▲ 災害または盗難等の被害を受けた世帯

この1年間に災害または盗難などの被害を受けたことにより **2年以上にわたって**支出の増加または収入の減少となる場合、支出の増加または収入の減少となる額の年額を控除します。

この1年間に火災・風水害または盗難等の被害を受けたことがありますか。

・はい ・いいえ

「はい」と答えた人は、支出の増加または収入の減少があるか
選択してください。

支出の増加がある

・はい ・いいえ

収入の減少がある

・はい ・いいえ



- ① 家屋に居住できなくなった場合の賃借料や、生産手段（店舗や農地等）が使用不能となった場合の売り上げの減少等（保険や損害賠償等により補てんされた金額を除く）が対象となります。
- ② 単に被害額や復旧費をそのまま控除するものではありません。

Ⅱ 申込内容⑥ 家族の特記情報（特別控除）（続き）

●「特記情報」画面

H-特記情報

1.あなたの家庭は母子または父子家庭ですか。

☐はい ☐いいえ

2.あなたを含め、家族の中に障がいのある人（常に就床（しゅうしょう）を要する介護（かいご）の必要な人等を含む）がいますか。

☐はい ☐いいえ

「はい」と答えた人は、その人数を記入してください。

半角数字 人

3.生計維持者が単身赴任等で別居していますか。

☐はい ☐いいえ

4.あなたの家族に6か月以上にわたり療養中の人または療養を必要とする人がいますか。

☐はい ☐いいえ

5.この1年間に火災・風水害または盗難等の被害を受けたことがありますか。

☐はい ☐いいえ

「はい」と答えた人は、支出の増加または収入の減少があるか選択してください。

支出の増加がある ☐はい ☐いいえ

収入の減少がある ☐はい ☐いいえ

以上で、申込内容の確認は完了です。次のⅢ章（必要書類を確認・準備）に進んでください。

Ⅲ 必要書類① 必要書類一覧

ここでは、申込みに必要な書類を表にまとめています。

必要な書類は、あなたの希望する奨学金の種類や、生計維持者の収入状況等によって異なりますので、第Ⅱ章「申込内容の確認」のページで選択した状況等により、必要な書類の記号を確認しましょう。

書類の 記号	提出が必要な人	第Ⅱ章の ページ
A	全員	—
B	申込者本人の国籍が「日本国以外」の人	6 ページ
C	「給付奨学金の申込み」を「希望する」人	10 ページ
D	「貸与奨学金の申込み」を「希望する」人	
E	「自立援助ホーム入所者等」の人	
F	現在の収入状況が「1. 給与 2019 年 1 月 2 日以降に就職・転職」にあてはまる生計維持者	16 ページ
G	現在の収入状況が「2. 商店・農業工業・個人経営による所得 2019 年 1 月 2 日以降に開業」にあてはまる生計維持者	
H	現在の収入状況が「5. 年金（遺族年金・障害年金含む）」にあてはまる生計維持者	
I	現在の収入状況が「6. 傷病手当金」にあてはまる生計維持者	
J	現在の収入状況が「10. 労災・親族等からの援助」にあてはまり、労災を受給している生計維持者	
K	現在の収入状況が「10. 労災・親族等からの援助」にあてはまり、援助を受けている生計維持者	
L	現在の収入状況が「11. 無収入（1～10 の収入なし） 2019 年 1 月 2 日以降に退職し無収入」にあてはまる生計維持者	
M	障がいのある人がいる世帯の控除を希望する人	20 ページ
N	生計維持者が単身赴任している世帯の控除を希望する人	
O	長期療養者がいる世帯の控除を希望する人	
P	災害または盗難等の被害を受けた世帯の控除を希望する人	
Q	全員	—
R	全員	
S	全員	
T	マイナンバーの提出ができない人	28 ページ
U	2020 年 1 月 1 日時点で海外居住していた生計維持者がいる世帯	29 ページ
V	2020 年 1 月 1 日時点で海外居住していた生計維持者がいる世帯	31 ページ

提出が必要な書類の記号を確認したら、次のページからその記号の書類の内容を確認し、用意しましょう。

Ⅲ 必要書類① 必要書類一覧（続き）

実際に準備する証明書や様式の名称と、準備する際の注意事項が記載されています。
注意事項を確認してから、書類を準備しましょう。

	記号	提出する証明書	コピーの提出	発行元	注意事項
申込みに関する書類	A	「提出書類一覧表」【様式①】	可	申込者が作成	提出する書類にチェックを入れ、この様式を一番前にしてひとまとめにします。（34・35 ページ）
	B	特別永住者証明書	可	出入国在留管理局	・ 在留資格、在留期限が明記されているものがが必要です。 ※ 証明書に記載の在留期限が申込日より前の場合は、在留期間更新の申請をしたことを示す書類も併せて提出する必要があります。
		または 在留カード	可		
		または 住民票の写し	不可	市区町村	
	C	「給付奨学金確認書」【様式②】	不可	申込者及び親権者が作成	・『給付奨学金』を希望する人は全員提出が必要です。 ・ 確認書に書かれていることをよく読み、記入例を確認しながらそれぞれ署名・押印をします。
必要とする人の書類	D	「貸与奨学金確認書兼個人情報取扱いに関する同意書」【様式③】	不可	申込者及び親権者が作成	・『貸与奨学金』を希望する人は全員提出が必要です。 ・ 確認書に書かれていることをよく読み、記入例を確認しながらそれぞれ署名・押印をします。
	E	児童自立生活援助事業（自立援助ホーム）の在籍証明書	可	在籍施設 児童相談所	・ 18 歳となった時点（申込時点で 18 歳になっていない人は申込時点）で児童自立生活援助事業（自立援助ホーム）に在籍していた（いる）ことがわかる必要があります。 ・ 開始年月日、18 歳時点で在籍していた（現在も在籍中である）旨が記載されているものを提出してください。

Ⅰ 準備

Ⅱ 申込内容

Ⅲ 必要書類

Ⅳ スカラネット入力

Ⅴ 書類の提出

Ⅲ 必要書類① 必要書類一覧（続き）

	記号	提出する証明書	コピーの提出	発行元	注意事項
収入に関する書類（貸与奨学金希望者のみ）	F	「給与明細計算書」【様式④】 ＋ 給与明細書（直近3か月分）	可	様式④：該当の生計維持者が作成 給与明細書：勤務先	手元にある一番新しいものから、さかのぼって 3か月分 の給与明細書が必要です。 ※ 働き始めてから3か月に満たない場合は、勤務を始めた月以降の分で構いません。
	G	「開業収入計算書（証明）」【様式⑤】 ＋ 帳簿（直近3か月分）	押印した 場合のみ 不可	該当の生計維持者が作成	・ 申込日の前月からさかのぼって 3か月分 の帳簿が必要です。 ・ 月ごとの「売上総額」「経費総額」が書かれているものを提出してください。 ※ 開業してから3か月に満たない場合は、開業した月以降の分で構いません。 ※ 帳簿を作成していない等の理由により帳簿の提出ができない場合は、 提出できない事情と、署名・押印 をした「開業収入計算書（証明）」【様式⑤】のみ提出してください。
	H	年金振込通知書 ----- または ----- 年金額改定通知書 ----- または ----- 年金証書	可	年金の支払元	・ 遺族年金・障害年金等、名称に「年金」と記載のあるものは、すべて年金収入として含まれます。 ・ 紛失等により、左記の書類のいずれも手元がない場合は、再発行を依頼してください。
	I	傷病手当金通知書	可	全国健康保険協会等	・ 手元にある一番新しい 1か月分 が必要です。
	J	労働者災害補填保険休業（補填）給付支給決定通知 ----- または ----- 労働者災害補填保険休業（補填）支払振込通知	可	労働基準監督署	・ 手元にある一番新しい 1か月分 が必要です。
	K	援助・養育費の申告書【様式⑥】	可	該当の生計維持者が作成	生計維持者以外から一定額の援助を受けている場合や養育費を受けている場合は、この様式に1年間の金額を記入します。